

情報公開文書

Ver1.1 2021年3月22日

2005年1月1日から2020年12月31日までに京都市立病院外科で残胃癌に対して外科治療を受けられた患者さんへ

1 研究の名称

残胃癌に対する低侵襲手術の有用性・妥当性の検討、多施設共同後ろ向き観察研究

2 倫理的配慮

この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会、京都市立病院臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3 研究機関

3.1 研究グループ

本研究グループは、下記 3.3 に記載の共同研究施設により構成されます

3.2 研究責任者

小濱和貴

京都大学 消化管外科 准教授

3.3 共同研究機関と共同研究者

京都大学医学部附属病院 消化管外科	准教授 小濱和貴 講師 角田茂 助教授 久森重夫 助教授 錦織達人
大阪赤十字病院 消化器外科	主任部長 金谷誠一郎 坂口正純
公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 消化器外科	副部長 田中英治
独立行政法人国立機構 京都医療センター 外科	医長 畑啓昭
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 外科	副院長 間中大 医長 小西小百合
地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院 消化器外科	部長 松尾宏一
神戸市立医療センター中央市民病院 外科	医長 小林裕之 医長 近藤正人
滋賀県立総合病院 外科	科長 山本秀和 副部長 山本道宏
天理よろづ相談所病院 消化器外科	副部長 門川佳央

西神戸医療センター 外科・消化器外科	参事 伊丹淳
独立行政法人国立病院機構姫路医療センター 消化器外科	医長 金城洋介
兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科	医長 川田洋憲
日本赤十字社 和歌山医療センター 消化管外科	部長 山下好人 副部長 辰林太一
神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科	医長 姜貴嗣
市立大津市民病院 外科/消化器外科	医長 平井健次郎
大阪府済生会野江病院 消化器外科	副部長 伊藤鉄夫
公立豊岡病院 外科	部長 三木明

4 研究の目的・意義

4.1 目的

多施設共同で腹腔鏡手術やロボット手術といった低侵襲手術の周術期成績や長期予後を開腹手術と比較することで、低侵襲手術の有用性と妥当性を検証します。

4.2 意義

残胃癌に対する外科手術に関するエビデンス構築の一助となる。

5 研究実施期間

倫理承認日より2年間

6 対象となる試料・情報の取得期間

2005年1月1日から2020年12月31日までに京都市立病院外科において、残胃癌に対して外科切除術を施行した患者さん。

7 試料・情報の利用目的・利用方法

各施設より匿名化した状態で以下に記載の情報を収集します。

8 利用または提供する試料・情報の項目

患者背景:年齢、性別、併存疾患など

疾患詳細:腫瘍存在部位、組織型、進行度など

治療内容:手術内容、周術期管理、術前術後化学療法など

術後経過:病理結果、術後合併症や長期予後など

9 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

「3. 共同研究機関と共同研究者」に同じです。

10 試料・情報の管理について責任を有する者

小濱和貴

京都大学 消化管外科 准教授

11 研究参加を希望されない場合

研究対象者またはその代理人が求めた場合には、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。

12 情報公開について

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手閲覧は可能です。京都大学消化管外科医局もしくは京都市立病院の下記問い合わせ先までご相談ください。

13 研究資金・利益相反

研究は消化管外科研究助成金を資金源とし、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理します。

14 問い合わせ先

京都大学消化管外科医局:075-751-3111(代)、研究担当:青山、岡村

京都大学医学部附属病院相談支援センター:

075-751-4748、ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都市立病院外科:075-311-5311

担当:松尾 宏一 kmatsuo@kch-org.jp